

令和6年(2024年)8月 青果部 主要品目の市況

	種類	品名	市況の概要	2024年8月 数 量 (トン)	2024年8月 平均単価 (円)	前年同月比 数 量	前年同月比 平均単価
1	野 菜	人 参	北海道産中心の入荷でした。高温の影響もあり、数量はやや増加しました。平均単価はかなり低く推移しました。	587	122	107%	77%
2		キャベツ	群馬県産が中心の入荷となりました。小玉傾向で数量はやや減少し、平均単価は高く推移しました。	738	94	91%	118%
3		トマト	降雨と暑さの影響で花つきが悪く、数量は減少し、平均単価はかなり高く推移しました。	542	414	89%	124%
4		な す	降雨の影響があり不安定な入荷でした。数量はかなり減少しました。平均単価はかなり高く推移しました。	136	399	87%	123%
5		たまねぎ	北海道産中心の入荷でした。台風の影響もありましたが順調な入荷となりました。数量はかなり増加しました。平均単価は高く推移しました。	457	133	122%	118%
6	果 実	西 瓜	猛暑のなか消費も終始堅調に推移、前年に比べ大きな問題もなく、数量はやや増加しました。平均単価は高く推移しました。	295	290	103%	120%
7		も も	山梨県産、福島県産、山形県産中心の入荷でした。数量はやや増加しました。平均単価はやや低く推移しました。	267	597	109%	97%
8		な し	カメムシの発生や日焼け果の発生により小玉傾向。数量はやや減少しました。平均単価は高く推移しました。	390	493	96%	115%

【増減基準】

- ①並み、横ばい:(+-)0～2%
- ②やや増加(減少):(+-) 3～10%
- ③増加(減少):(+-)11～20%
- ④かなり増加(減少):(+-)21～50%
- ⑤大幅に増加(減少):(+-)51%以上